

# 雅ねえの、みんなで取り組む

# 獣害対策講座 Vol.7

※タイトルに記載している『雅ねえ』の表記は、本人の原稿どおりで掲載の了承を得ています。

## おさらいと予習

### 【前回】

今回は獣害にまつわる尻切れトンボの物語。何が言いたかったっていうと、大切なのは、年齢、性別関係なく、勉強して自分で守りたいっていう人がみんな始めること。最初から行政に補助金でやってもらう、駆除してもらおうなんて魂胆のある人が入っていると獣害なんて止まらないってことだよ。

アツ、物語の続編、現在進行中なのでまた書くね。

### 【今回】

今回はスズメ、カラス、ヒヨドリといった鳥のお話。みんな悪い奴らって思ってるけど、実はいいこともずいぶんやってくれてるのが鳥たち。

鳥たちのいいところ引き出してうまく協力してもらいながら、悪いところだけ発揮させないで上手に付き合いましょうってお話。



## 鳥が守ってる身近な作物

### 【カラス】

あのね、日本に侵入した頃、あれほど猛威をふるったジャンボタニシ、絶滅したわけじゃないけど、最近それほどもなくなってきたでしょ。産み付けられてる赤い卵塊もそれほど大きいのは少ない。つてことは、おおきな卵塊産めるほど大きく育つ母貝が少なくなってきたってこと。カラスが「あつ、これは食える、貝殻も嘴で簡単に割れるぞ」って気づいて中干し中の田んぼや水深のない水路で常食にし始めた。カラスも田んぼ守ってくれてるのよね。

アツ、庭先果樹も産卵にくるカミキリムシなんか、結構カラスが退治してくれてるから、たまにテップウムシ（カミキリの幼虫）がおがくずみたいな糞を幹から出す程度で済んでるでしょ。あるじいちゃんや鳥から守りたいってイチジク数本、防鳥ネット張りっぱなしにしたら、テップウムシでイチジクの幹がレンコンみたいになってゼーンと枯れちゃった。

### 【スズメ】

昔からツバメは虫を食べてくれる益鳥でスズメはおコメ食べる害鳥ってみんな思ってるでしょ。あんなのあたしに言わせれば大ウソ。

スズメの方がよほど農業に貢献してるよ。ツバメなんか、虫食ってるっていうけど、食ってるのはほとんど農業に関係ないユスリカみたいなものばかりでところかまわず巣をつくってフン害起こしてる。

スズメは、そりゃ、確におコメ食うけど、スズメがどれだけ害虫食ってるかじつと見てたらびびくりするよ。

出穂期の田んぼの畦で母ちゃんより見た目は大きいくらいのスズメのヒナが羽振るわせて餌待ってる。田んぼの中から口に餌くわえた親スズメがさつと飛んできて口移しに餌あげてる。

なんとその餌みんなイナゴやバッタの幼虫。ハスモンヨトウ、ミノムシといった芋虫、毛虫はもちろんだし、田んぼの上でニカメイチュウの成虫と空中戦してることもある。農業試験場で防鳥ネット掛

けた区だけガ類の幼虫が大発生してダイズが茎だけの丸坊主になっちゃったこともある。知らないところでもずいぶん役にたってるってことですよ。



## 鳥たちと上手に付き合う

### 期間限定防御

サル、シカ、イノシシといった動物の対策では1年を通してここは餌場、遊び場ではないという意思表示が重要、田んぼは稲刈り終わった後こそ柵を効かせろ、ミカン園も収穫終わっても雑草食わせていれば餌付け、って言ったけど、鳥には害虫捕食ってびびくり